

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立 白野江小学校】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	第3学年 17名 第4学年 13名 第5学年 17名 第6学年 13名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 (北九州市小学生車いすバスケットボール大会) ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	・ リオパラリンピック車椅子テニス日本代表二條実穂氏の話 を聞いたり競技用車椅子の使用体験をしたりすることにより、 自分の目標に向かって粘り強く取り組もうとする心情を養っ たり、障害を持った方たちとの共生社会について考えたりする ことができるようにする。
5 取組内容	第3学年・第4学年（合同） ○ 二條実穂氏による講演  ・ パラリンピックについての紹介 ・ 二條氏の人生（子どもの頃の夢・大きな事故・車いすテニスとの出会い） ・ 夢を叶えるために大切にしたいこと

第5学年・第6学年（学年別）

○ 二條実穂氏による講演と車いす体験学習
講演



競技用車椅子体験



車いすテニス体験



事後

第4学年：総合的な学習の時間「みんなにやさしいまち」

○ 車椅子、白杖・アイマスク体験



二條氏の講演と本校カリキュラムの「みんなにやさしいまち」とを関連付け、体の不自由な方にもやさしいまちとはどんなまちかを車椅子、白杖・アイマスク体験も行いながら、調べまとめた。いった。

	第5学年：総合的な学習の時間「パラリンピックにズームイン」 車椅子テニスだけでなく、いろいろなパラスポーツやパラスポーツの歴史について調べ、プレゼンテーションにまとめ発表した。 また、北九州市小学生車いすバスケットボール大会に参加した。 
6 主な成果	○ 3年生から6年生までの児童がパラリンピアから直接お話を伺ったことで、東京オリンピックだけでなく、東京パラリンピックに対する関心を高めることができた。 ○ 児童は、「心の中の『好き』を大切に」「夢は叶えるもの」という言葉をいただいた。そして、そのためには日常生活で、『無理』と言わない」と教わった。「無理」が口癖の児童が多かったので、日常生活を見直すきっかけとすることができた。 ○ 本校カリキュラムを行っていく中で、二条氏の話を取り上げることで、より関心をもって学習を進めることができた。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	○ 本校では、4年生の総合的な学習の時間「みんなにやさしいまち」で福祉体験を、また、5年生の総合的な学習の時間「パラリンピックにズームイン」で車いすバスケットボール大会への参加をカリキュラムに設定している。二条実穂氏の講演を6月に行ったことで、講演からの学びを本校のカリキュラムへと関連付けていった。
8 主な課題等	○ 本校は、小規模校であるので、十分に車椅子体験を行うことができた。大規模校では、やり方を工夫する必要がある。
9 来年度以降の実施予定	○ 来年度も本年度と同様に、本校のカリキュラムと関連付けてパラアスリートの方などの講師を招聘したい。